

一般財団法人京都ユースホステル協会

2020年度事業報告書

期間：2020年4月1日～2021年3月31日



“Say Hi to the world 一旅の持つ力”

若者が世界（旅）の扉を開けて 学びや発見に出会うために

ユースホステルはいつも彼らを応援します

〒616-8191 京都市右京区太秦中山町 29 宇多野 YH 内

TEL: 075-462-2312 FAX: 075-462-2289

URL: <http://www.yh-kyoto.or.jp> E-mail: kyh@yh-kyoto.or.jp

目 次

目 次	1
はじめに	2
数値目標達成状況	3
事業活動概況	
I. ユースホステル活動	4 - 6
II. 宇多野ユースホステル（指定管理事業）	7 - 10
III. ユースホステル関連活動	11 - 12
IV. 天橋立ユースホステル	13 - 14
V. 組織運営	15
財務状況	16 - 17

(別添資料) 公益目的支出計画実施報告書

2020 年度事業別詳細資料

はじめに

2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大による 2 度にわたる緊急事態宣言の発出など、感染拡大の影響が当初の想定以上に長期化し、事業活動や施設、食堂運営などが大変厳しい状況に置かれました。

そうした中、休館や宿泊受入れの自粛、事業の中止など、これまでにない利用の減少、減収に見舞われ、それに合わせた事業の見直しや予算の修正などを行いました。

また、感染予防等の安心安全な施設利用を確保するための取り組みを行うと共に、8 月以降には Go to キャンペーンの活用や個人や家族、近場からの宿泊利用誘致や焚火庵等の行事等にも取り組みました。

合わせて、国などの持続化給付金や雇用調整助成金制度等の活用、春の緊急事態宣言や休館等による宿泊キャンセル分への京都市からの補償支援、衛生費や水道光熱費等の変動運営経費の抑制、役員報酬や職員賞与の減額などによる人件費の削減を含め、業績への影響を抑え赤字の縮小に努めました。

一方で、12 月からの感染拡大や Go to キャンペーンの中止、1 月からの第 2 回緊急事態宣言の発出など、年度後半も厳しい状況ではありましたが、天橋立ユースホステルマネージャーへの運営委託を行う他、職員研修の充実やこれまでの取組課題であった効率的な運営のための予約や宿泊、顧客管理の処理システムの検討・整備などにも継続して取り組みました。

こうした取り組みの結果、宿泊利用者は、宇多野ユースホステルでは 5,566 人（前年度比 83.3%減）、天橋立ユースホステルでは 1,406 人（前年度比 58.4%減）となりました。

また、当協会の当期正味財産増減額は－14,684,178 円となりました。

新型コロナウイルス感染予防のワクチン接種が始まるなど、明るい話題がある一方、接種のスピードや変異種への懸念など、まだまだ先行き不透明な状況が続きますが、経費の削減といった守りの運営だけではなく、新型コロナウイルスの事態収束後の変化や速やかな利用回復を見据えた取り組みの他、利用拡大への挑戦などの攻めの運営につながる投資なども可能にする手元資金充実のために 3,000 万円の借入金上限額の設定を承認いただきました。

まだまだ厳しい状況が続きますが、職員、スタッフ一同力を結集してこの危機を乗り越えてまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

専務理事 高田光治

数値目標達成状況

(1) 事業・取り組み

事業活動	年間目標設定項目	目標数	実績数	達成度
Y H活動	イベント参加者数	23,000 名	24,003 名	104.4%
	青少年イベント参加者数	4,000 名	4,307 名	107.7%
宇多野 Y H	宿泊実績	5,300 名	5,566 名	105.0%
	学校団体利用実績	15 校	6 校	40.0%
	スポーツ団体利用実績	10 団体	7 団体	70.0%
Y H関連活動	夕食提供数	2,900 食	2,674 食	92.2%
	朝食提供数	4,320 食	3,725 食	86.2%
天橋立 Y H	宿泊実績	1,450 名	1,406 名	97.0%

(2) 収支状況（経常増減額）

	一般会計 建設基金	物頒会計	宇多野会計	天橋立会計	総 合
補正予算	▲609,000 円	▲3,915,000 円	▲25,283,000 円	▲598,000 円	▲30,405,000 円
実 績	1,476,656 円	▲2,203,625 円	▲12,408,006 円	▲1,549,203 円	▲14,684,178 円
差 額 (対予算)	2,085,656 円	1,711,375 円	12,874,994 円	▲951,203 円	15,720,822 円

事業活動概況）Ⅰ．ユースホステル活動（青少年事業・旅行事業）

新型コロナウイルスの感染リスクを考慮しながら、この状況下でも可能な方法を探りながらの事業実施となりました。コロナ禍の自粛生活の中にあっても、“どこかに行きたい”や“何かをやりたい”という欲求にフィットする形で提供ができたのが、「焚火庵」や「まいまいオンライン配信」でした。それぞれに提供する形やテーマ、内容に工夫を凝らし、参加者の探求心に応えたユニークな取り組みへと向かっています。

（１）目標の達成状況

- 年間イベント・事業参加実績目標：延 23,000 名
結果：延 24,003 名（目標達成率：104.4%）
- 年間青少年対象事業参加実績目標：延 4,000 名
結果：延 4,307 名（目標達成率：107.7%）
- 宿泊を伴う新規プログラムの実施：4 企画以上
結果：1 企画実施（目標達成率：25%）

（２）トピックス

1. 新しい生活様式に合わせた交流や運動普及活動

■家族や小グループで楽しめる「焚火庵」事業

（一財）ポジティブアースネイチャーズスクールとの共催にて宇多野ユースホステル中庭で実施。焚火を囲んで静かに語らう時間や珈琲の焙煎など、ちょっと大人の時間を楽しんでいただけます。

宇多野ユースホステルの休館期間中は残念ながら実施不可となりましたが、リピーターも多く、子どもたちには薪を割るところから体験してもらうなど工夫をしています。NHK文化センターの焚火講座も宇多野ユースホステルで実施されるなど、焚火人気はまだまだ続きそうです。

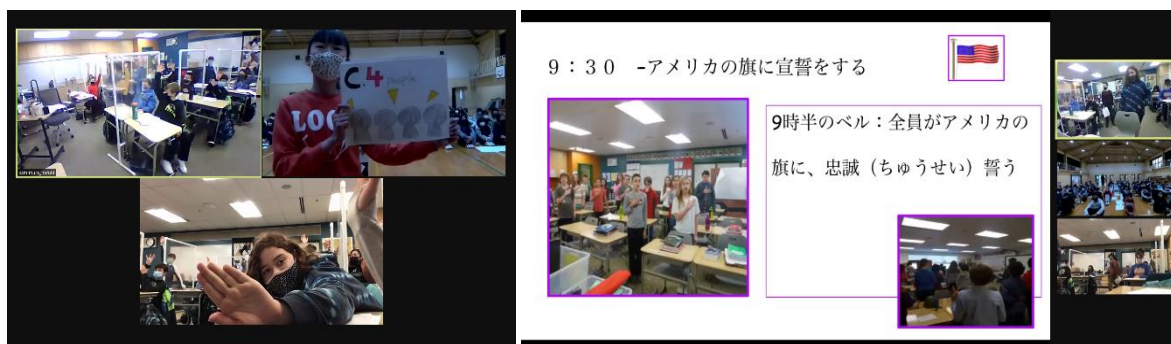
・参加人数：延 68 組 171 名 内、延 22 組 70 名が宿泊者



■オンラインによる海外学校との国際交流

2年に一度宇多野ユースホステルに宿泊されるアラスカ州・サンドレイク小学校と地元の宇多野小学校とのオンライン交流を実施。日本の生徒は英語で、アラスカの生徒は日本語で、それぞれの学校紹介や学習内容、生活文化の違いなどを話し合いました。日本側は主に紙のフリップで発表、アラスカ側はPCで作成されたファイルの画面共有。こういった所にも違いを感じました。

- ・実施日：2021年2月25日、26日 Zoomにて
- ・参加者：宇多野小学校6年3クラス85名、サンドレイク小学校日本語学習2クラス40名



■子ども向けの体験活動の実施

- ・ネイチャーキッズ2020・・・年間実施回数：7回／参加人数：延137名
- ・アースレンジャー／シーズンキャンプ・・・年間実施回数：59コース／参加人数：延778名

■日本野外教育学会オンライン研究大会・企画委員会シンポジウムで取り組み発表

コロナ禍での事業実施の取り組みについて発表

- ・開催日：2020年11月7日（土）Zoomにて／参加人数：約100名

■若者のキャリア支援への協力

マイナビ主催の高校生ビジネスアイデアコンテストである“キャリア甲子園”において、協賛団体である日本ユースホステル協会へ協力し、参加学生たちが自分たちのアイデアを形にし将来につなげるための支援を行いました。ユースホステルのテーマにエントリーした618チームの中から最終代表となった同志社高校「そばかす」チームは、決勝大会での素晴らしいプレゼンテーションで見事「審査員特別賞」を受賞しました。

- ・キャリア甲子園2020 参加：2,009チーム（6,870名）
- ・同志社高校「そばかす」（日本ユースホステル協会テーマ）：審査員特別賞受賞



2. 「京都を深く知る旅」の機会を提供し続ける

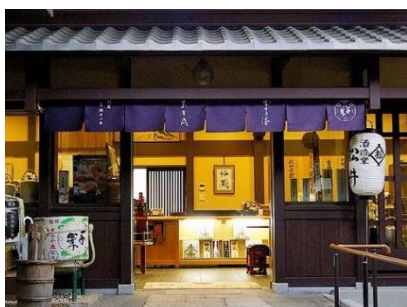
■まいまい京都 オンライン配信のテーマもより深く

まち歩き事業が全て中止になった 4 月から、すぐにクラウドファンディング、オンラインライブ配信、と留まることなく活動続けるまいまい京都では、引き続き京都文化をより深く提供しています。

通常立ち入れない特別エリアからの中継や、著名な講師を迎えてより専門的な話を聞く人気の配信などもあれば、仁丹看板やダム入門などニッチなものまで網羅しています。再開されたまち歩きツアーも昨年より実施数は少なくなっていますが、変わらず参加者に好評です。

・年間実施回数：まち歩き 380 コース／参加人数：延 6,610 名（オーダーツアー含む）

オンライン配信 93 コース／参加人数：延 12,698 名



▲十五代松井治右衛門と、酒蔵ツアー&オンライン大呑み会



▲動物を科学する！
獣医園長&霊長類学者のオンライン動物園



▲錦秋の東福寺へ！史上初、
禁断エリア徹底潜入オンラインツアー



▲烏賀陽ゆりの、
ときめく日本庭園サロン



▲若冲の世界を徹底解剖！
細見館長のオンライン美術館



▲芸舞妓「美」の舞台裏、
花街を支える男衆の世界に迫る

3. 京都府下のユースホステル宿泊実績状況

ユースホステル名	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
宇多野 YH	40,768 人	38,706 人	35,392 人	33,299 人	5,566 人
清水 YH	1,265 人	931 人	692 人	470 人	37 人
美山ハイマート YH	1,003 人	776 人	754 人	695 人	305 人
天橋立 YH	3,126 人	3,010 人	2,760 人	3,381 人	1,406 人

事業活動概況) Ⅱ. 宇多野ユースホステル (施設運営)

新型コロナウイルスがまん延する中、4月16日から約2ヶ月におよぶ臨時休館を経て、施設として様々な感染防止対策を講じてきました。11月や3月など新型コロナウイルスが沈静化を見せかけた一時期には家族や個人の利用もあり、かろうじて補正計画の目標実績を越えることができました。

しかしながら1月には京都府でも再度緊急事態宣言が発出され、個人の旅行者をはじめ修学旅行他の国内団体利用においてもキャンセルや延期が相次ぎ、過去にない厳しい運営を余儀なくされました。

今後、ワクチン接種等により新型コロナウイルス収束の兆しが見えた時に、速やかに集客および受け入れの対応ができるよう、日々の取り組みを進めたいと思います。

(1) 目標と達成状況

■年間宿泊実績目標：5,300名

結果：5,566名

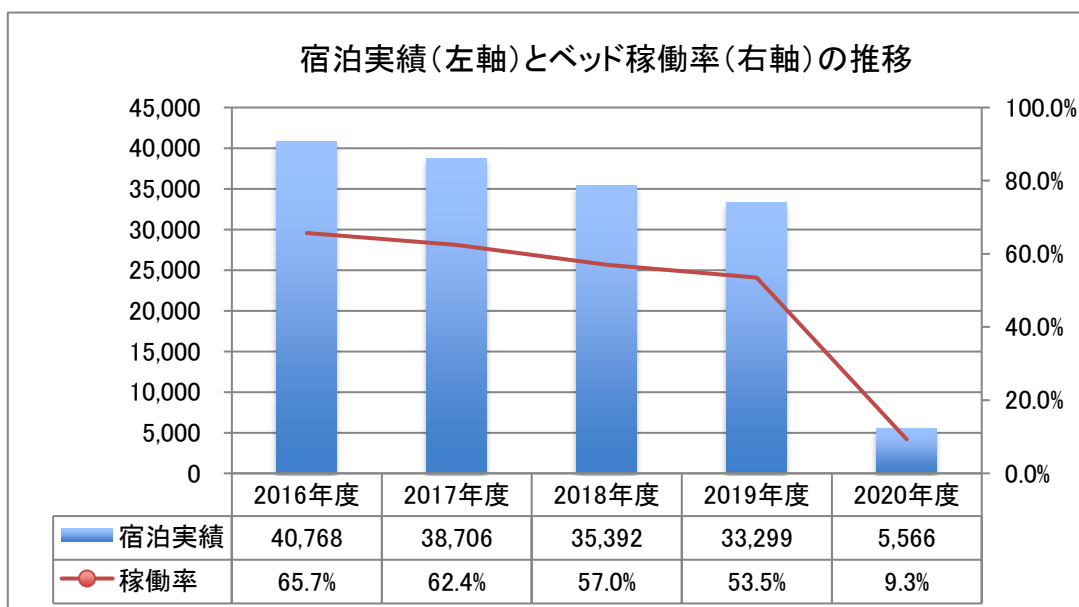
(目標達成率：105.0%、対前年度：-27,733名、対前年度比：16.7%)

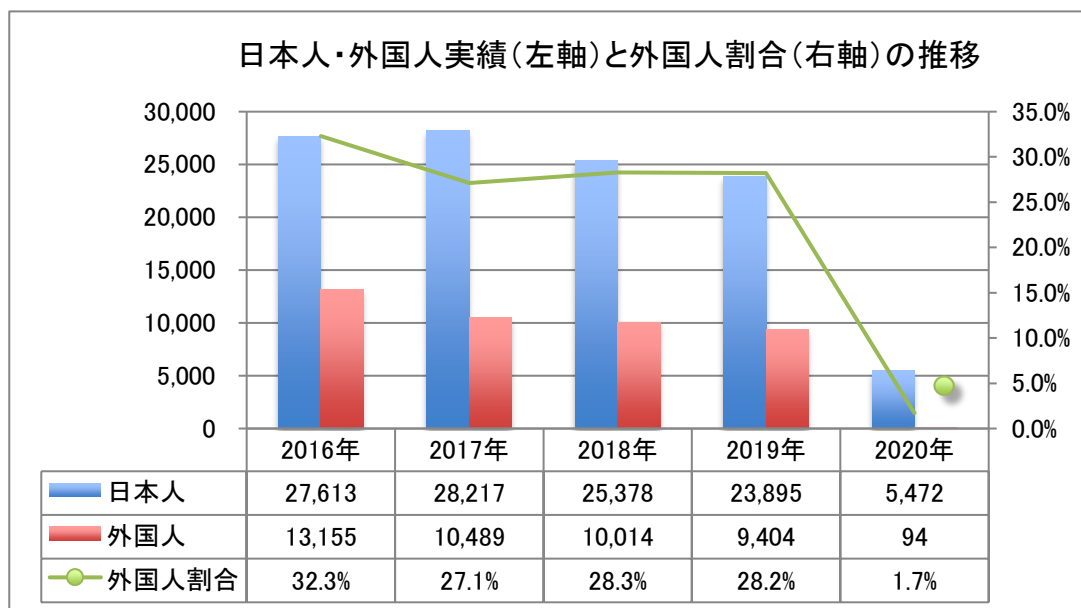
■年間学校団体利用実績目標：15校

結果：6校 (目標達成率：40.0%、対前年度：-93校)

■年間スポーツ団体利用実績目標：10団体

結果：7団体 (目標達成率：70.0%、対前年度：-57団体)





(2) トピックス

1. コロナ禍における感染症対策と赤字幅削減の取り組み

新型コロナウイルスに対して施設としてのガイドラインを策定し、清掃やチェックイン方法、利用にあたっての注意や制限など、様々な場面で感染症対策を講じてきました。宿泊予約キャンセルが相次ぐ中、数は少ないものの例年通り宿泊いただいた修学旅行等の学校団体もあり、緊張感のある受け入れとなりましたが、幸いクラスター等発生することはありませんでした。

こういった状況の中、赤字額削減のため退職したスタッフ補充の見送りや職員への休業指示、賞与カットや勤務時間の見直し等による人件費の削減、保守契約やリース内容の見直し等による経費削減に取り組みました。



【学校団体利用実績】 ※()内は対昨年度実績 ※クラブ利用などは含まず

	合計	内訳		
		小学校	中学校	高校
学校団体	6校(-93校)	1校(-33校)	4校(-48校)	1校(-13校)
泊数	8泊(-130泊)	1泊(-33泊)	6泊(-79泊)	1泊(-18泊)
延べ宿泊数	911名(-8743名)	146名(-2363名)	657名(-5705名)	108名(-675名)
平均泊数	1.33泊(-0.06泊)	1泊(±0泊)	1.5泊(-0.13泊)	1泊(-0.36泊)
海外学生団体	0(-78件)	※2019年度 (フランス 22件、オーストラリア 13件、アメリカ 14件、イギリス 5件)		
泊数	0(-224泊)			
延べ宿泊数	0(-5871名)			
平均泊数	0(-2.87泊)			

2. 近距離地域をターゲットとした取り組み

公共交通機関による長距離移動の懸念とマイクロツーリズムの観点から、京都市内や近距離地域を対象とした各種キャンペーンや割引プラン、個人向けドミトリ料金での個室利用等の販売を行いました。ご家族一室利用や無料駐車場、周辺散策のPR、事業面では野外でのイベント「焚火庵」の開催等を行い、市民しんぶん全市版の積極活用やオンライン予約サイト（OTA）によるプラン販売など、ユースホステルを知らない幅広い層に認知してもらえるように取り組みました。

キャンペーン名	期間	件数	延宿泊人数
京都市民限定半額キャンペーン	6/19～7/15	12	54
京都で食べよう、泊まろうキャンペーン	7/19～9/30	30	103
家族半額サマーキャンペーン	8/1～10/31	110	396
大学生半額キャンペーン	9/1～9/30	4	10
子ども・若者半額キャンペーン	12/1～3/15	22	61
家族半額ウインターキャンペーン	3/1～3/31	116	461
		294	1,085

1. その他取り組み

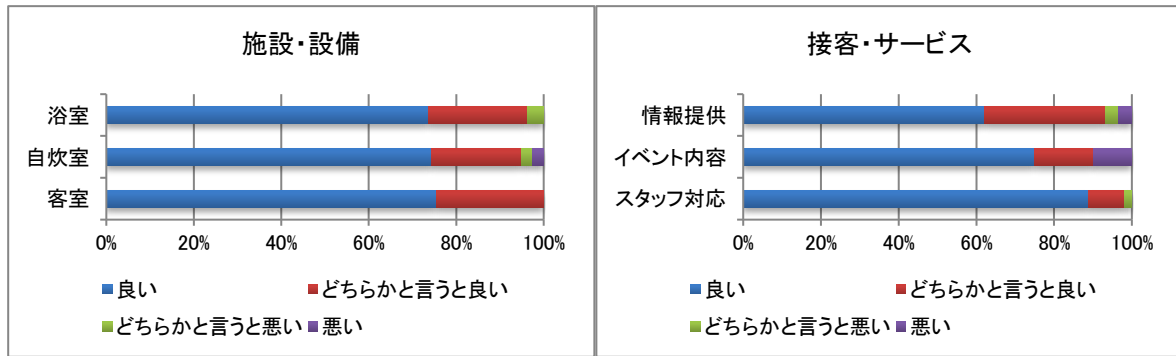
【利用者アンケート評価】

- ・ Google 総合評価とても満足：4.3
- ・ Trip Advisor とても良い：4.5
- ・ 楽天トラベル総合評価：4.82
- ・ agoda 非常に満足：8.5
- ・ Expedia 口コミ評価：4.4
- ・ Booking.com Traveller Review Award：8.5



【口コミ】

- ・ 36年振りに宿泊した当ユースホステル。以前の施設も立派でしたが、新しい施設はユースホステルのレベルを遥かに超えています。Goto キャンペーン期間の宿泊になりましたが、対コロナウィルス対策もバッチリでした。スタッフの皆様のご対応も素晴らしかったです。また、京都方面に旅行に行く時はぜひ利用したいです。(2020年9月)
- ・ リニューアル前にも泊まったことがありますけど、リニューアルして更に快適になったように思います。ユースホステル会員でなくても、会員価格で泊まれるのは、公営の魅力。和室もあるので、家族利用にも向いています。規模が大きいので、団体利用にも向いている気がします。(2020年11月)
- ・ とにかく広く静か、清潔で綺麗なところ ユースホステルらしく旅の情報が豊富なところ。それとほんとになんといっても駐車場フリーなのが嬉しい 朝食をいただくのは二度目でしたが、係の方は共にとても感じが良かったです。顔を見てから一人ずつサーブされると嬉しく美味しいものだと思いました。良くなかったところではないけれど、海外からの人がいないため人が居なく寂しいくらい。(2020年11月)
- ・ アットホームな雰囲気、ロビーでくつろぐことが出来ました。紅茶の飲み比べもありお風呂も良く快適な旅になりました。ハンモックもあって子供も大喜びでした！！コロナの影響で朝食バイキングがなかった...はやくコロナ落ち着いてほしいです。(2021年1月)



【営業活動・広報等】

- 7月 京都府内の学校団体への利用促進のための DM 配布
- 10月 京都市内の旅行会社を訪問、現状や今後の見通し等意見交換を行う。
- 11月 スポーツ関係の団体事務所や施設を訪問
- 12月 文化教室や体験等行っている団体や施設、企業や青少年支援等の中間支援組織団体を訪問
京都市内区役所・出張所、図書館、青少年活動センター等でのチラシ配架依頼
- ・修学旅行等教育旅行用パンフレットの作成
- ・SNS による随時情報発信、ターゲットを絞った facebook 広告の配信
- ・毎月 4 回メールマガジンの配信（日本ユースホステル協会より 1 日、15 日 配信数約 1 万件、京都ユースホステル協会より 24 節季毎 配信数約 3,500 件）
- ・子ども・若者半額キャンペーンの利用促進のため名刺大 PR カードを作成（2,000 枚）、ご家族や対象者が含まれる団体やグループに配布



【各種地域活動団体への参画や派遣】

- ・京都市宇多野小学校学校運営委員会
- ・京都市鳴滝総合支援学校運営委員会
- ・右京区行政推進会議オブザーバー
- ・右京ふれあい文化会館活性化協議会
- ・京都歴史回廊運営協議会
- ・京はぐくみネットワーク
- ・京のアジェンダ 21 フォーラム
- ・京都うなやと歴史文化部
- ・京都青少年ゆめネットワーク

【職員研修】

- 6月：実務で使える BtoB マーケティングの思考法セミナー
- 7月：リーダーのための MBA 基礎講座／90 日で業績 UP！菓子店の名物商品づくりセミナー
- 8月：社会人基礎力養成セミナー 1（チームビルディングとモチベーションアップ研修）
- 9月：社会人基礎力養成セミナー 2（自己課題分析・キャリアデザイン研修）
- 12月：若手中堅社員研修入社 3 年目までに身につける仕事の基本 8 ヶ条
- 1月：食の多様化への対応セミナー／ノロウィルス等衛生管理講習
中小ホテル・旅館のためのホテルマーケティングセミナー
- 2月：甲種防火管理再講習
- 3月：ホテル・旅館向けアフターGoTo 戦略セミナー／ノロウィルス等衛生管理講習

事業活動概況) Ⅲ. ユースホステル関連活動 (食堂・物販)

宇多野ユースホステルにおける食堂部門は宿泊利用と連動していることもあり、宿泊と同様に厳しい運営となりました。安全面を第一に、感染拡大防止や食中毒予防などの感染症対策に取り組み、その中でも宿泊者以外の地域の方への食事提供の模索や、新たな宿泊につながる魅力的なメニューの開発や提供等に取り組みました。

(1) 目標と達成状況

■夕食提供目標数：2,900 食 (摂取率 54.7%)

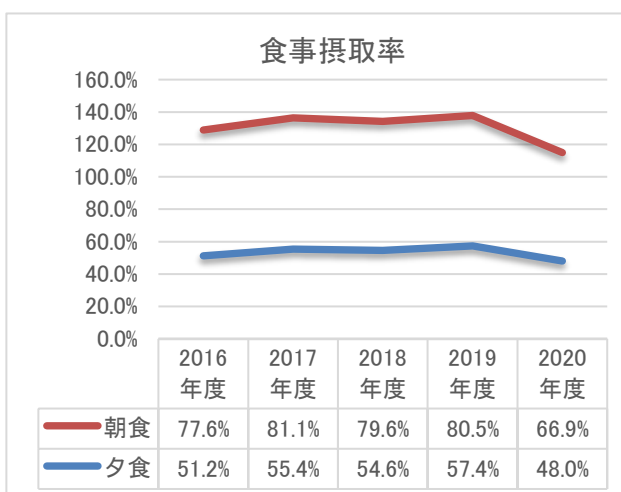
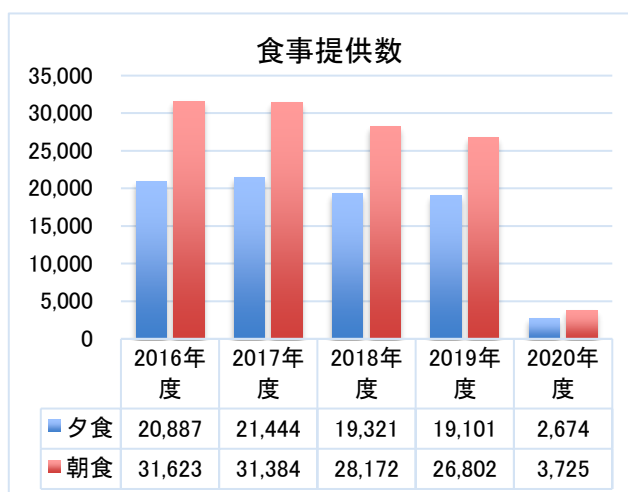
結果：2,674 食 (摂取率 48.0%)

(目標達成率：92.2%、対前年摂取率：- 6.4%、対前年度比：14.0%)

■朝食提供目標数：4,320 食 (摂取率 81.5%)

結果：3,725 食 (摂取率 66.9%)

(目標達成率：86.2%、対前年摂取率：- 13.6%、対前年度比：13.9%)



(2) トピックス

1. コロナ禍での食事提供の取り組み

感染防止対策として、密にならないよう間隔を空けた座席の配置や提供方法等を試行錯誤した一年でした。

バイキングで提供していた朝食は、盛切りスタイルの提供に変更しました。特に修学旅行や団体に向けては旅行会社や学校との事前のやりとりから出来る限りのリクエストを聞き、シミュレーションを行い、少ないスタッフ体制を補うために清掃スタッフや職員も配置し、緊張感を持って乗り切りました。



2. 魅力的なメニューの提供

コロナ禍の中でも、食事を楽しみに来てもらいたいという思いを込め、魅力あるメニューの開発や試行を行いました。宿泊者だけではなく、地域の方にも提供できればとお昼に弁当提供、海外旅行が難しい今だから宇多野ユースホステルで世界を味わうメニュー、食前食後のひと時にデザートやワイン、そして焚火庵にあわせて野外で食事ができるディナーパックの提供も行いました。



▲サバサンド



▲元旦のおせちの朝食を提供



▲世界のカレーバイキング



▲ドイツディナーの日



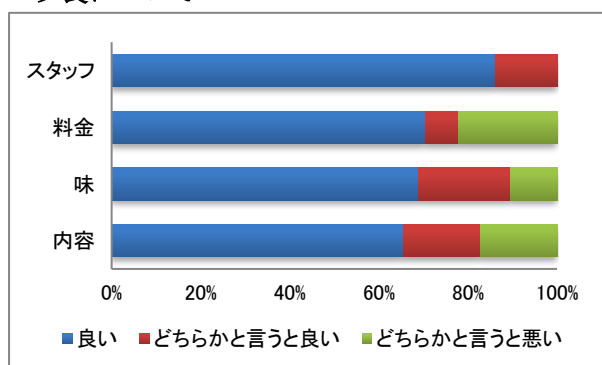
▲デザートの提供



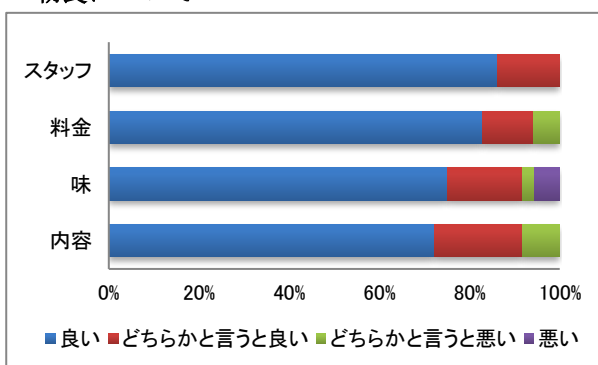
▲焚火庵にはディナーパック

【食事アンケート結果】

夕食について



朝食について



3. その他取り組み

【シェアサイクルの導入】

環境に負荷のかからない交通手段として、またコロナ禍でも注目を集めている自転車ですが、今回シェアサイクル PIPPA を導入しました。京都市内 120 ヶ所ある駐輪ポートでの乗り降りが可能となり、駅前や街中から宇多野 YH まで、または宇多野 YH から街中での乗り捨てもできるようになりました。



事業活動概況) IV. 天橋立ユースホステル (施設運営・食堂・物販)

年度初めの4月から6月は緊急事態宣言による宿泊受入の自粛要請に協力し、宿泊者数が大幅に減少する結果となりましたが、7月以降は感染リスクが少ないエリアという安心感もあり少しずつ回復の兆しを見せました。10月には前年度比93.4%まで回復しましたが、年末より感染者が増加し再び緊急事態宣言が出されると、客足が遠のきました。

8月より施設運営を行っておりますが、新たに経験することが多く、集客につながる新たな取り組みや地域と連携した交流イベントなどを着手するまでには至りませんでした。日々の運営では、コロナ禍でも来てくださる方に居心地よく安心して過ごしていただけるように、食堂レイアウトの変更や施設の塗装・補修繕、玄関前の花壇づくりなどを行いました。

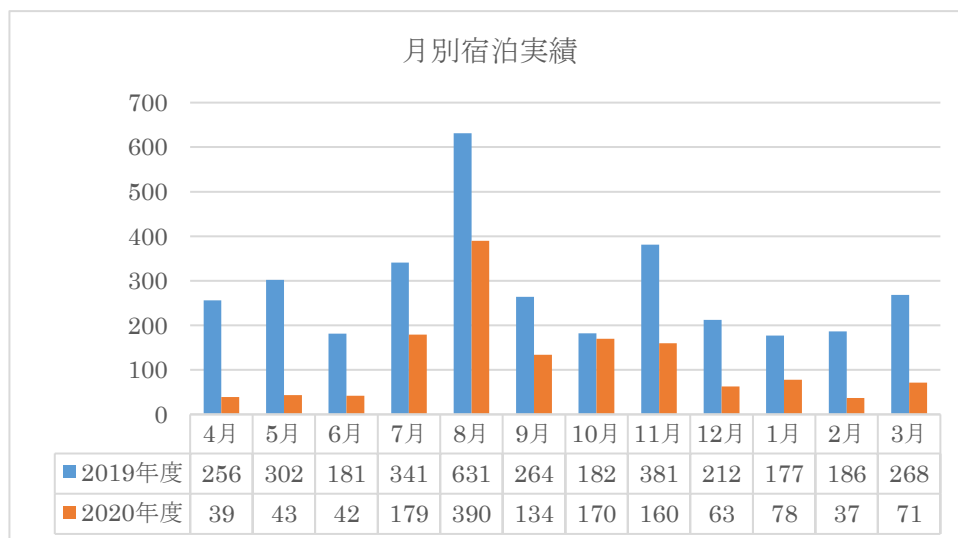
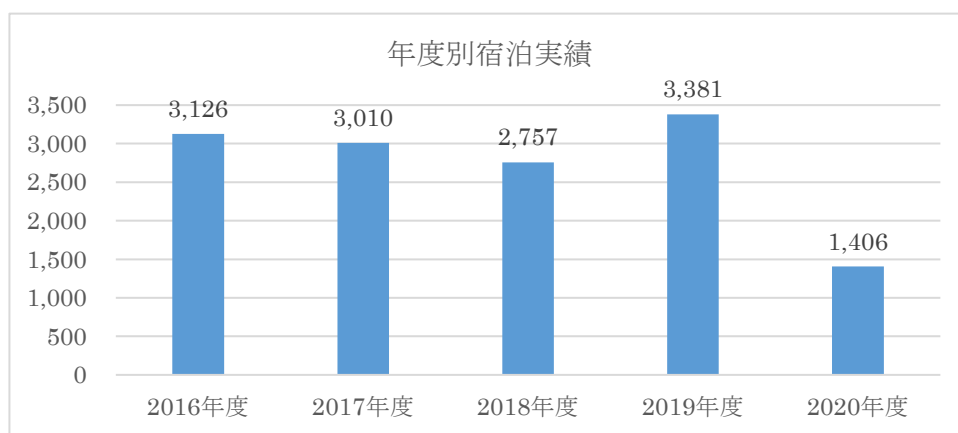
年間の流れや作業が把握できたので、2021年度は特徴ある施設運営を行っていききたいと思います。

(運営業務受託者: Circle of travel てんてる 木村俊博)

(1) 目標の達成状況

■ (目標) 年間宿泊実績: 1,450名

■ (結果) 年間宿泊実績: 1,406名 (目標達成率: 97.0%、対前年度: -1,975名)



(2) トピックス

1. 施設や設備の魅力化や補修繕

- ・ テラスのウッドデッキ整備やガス乾燥機、ウォーターサーバーの設置
- ・ 寝室階段やフロントや廊下壁面の改修、屋根や外壁のペンキ塗り替え
- ・ 竹林伐採等による眺望改善、風呂ボイラーポンプや給水ポンプ水圧センサー修理

2. 感染予防の対策強化や支援制度を活用した新型コロナ危機への対応

- [感染対策強化] 玄関や食堂、寝室、洗面所等へのアルコール消毒薬の設置
フロント受付への飛沫防止シートの設置、可能な限りの個室対応受け入れ
密にならない食堂テーブル配置、宿泊者への感染予防対策への協力依頼
- [支援制度の活用] 京都のお宿で魅力発見キャンペーンの活用 21名利用
Go to トラベルキャンペーンへの参加、宿泊証明書の発行

3. 新たな管理者による運營業務委託開始

8月より木村俊博氏（Circle of travel てんてる代表）による施設の管理運営を開始

4. 魅力的な体験や滞在企画、サービスの提供等による競争力の強化

- ・ 関西在住の留学生や就学生等のレンタカー利用による伊根や丹後の自然を楽しむ利用開拓
- ・ 敷地の自然やテラス等をいかした BBQ 利用促進
- ・ 籠神社や眞名井神社への参拝や成相寺への西国三十三か所巡りなど、新型コロナウイルス感染下でも根強い利用が見込める利用者への個室利用や自炊スペース利用可能等の発信による誘致
- ・ 9月末までの土日や祝日に行われた「宮津エール花火」等の地元イベントに合わせて利用開拓



事業活動概況) V. 組織運営

新型コロナウイルスによる大打撃を受け、宇多野ユースホステルは4月中旬から約2ヶ月間という長期的な臨時休館となり、また営業再開後も宿泊者のわずかな日が大半といった状況となりました。そのため、退職者の欠員補充の見送りや運営体制の最小化、ユースホステル協会の業務を担当するスタッフも今まで以上に宇多野ユースホステルの運営に係わるなど、少しでも経費削減につなげるサポートに終始する1年となりました。

当初、「安定的な運営体制の確立」と「労働環境の見直し・改善・整備」を目標に掲げておりましたが、コロナ禍の中では全く異なる状況となりました。職員やパートの方々には休業について理解と協力をいただき、各種補助金・助成金を最大限活用しつつ、「赤字の削減」と「組織の維持」を最優先すると共に、運営課題の明確化や改善に努めました。

今後、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種などを見据えながら、利用回復や運営収支の状況に合わせた運営体制を維持すると共に、収束後の利用回復とその後の変化に適応できる組織や運営体制を確立に努めます。



財務状況

(1) 概要

1. 決算概況

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により旅行控えが顕著になり、宇多野・天橋立ユースホステルともに宿泊者や食事摂取者の減少が激しく、非常に厳しい決算状況となりました。

[対2019年度実績]

■宇多野ユースホステル 宿泊収入：19.2% 食堂・物販収入：14.6%
 ■天橋立ユースホステル 宿泊収入：37.0% 食堂・物販収入：30.2%

4月に1回目の緊急事態宣言が出された際は、宇多野ユースホステルは約2カ月間の臨時休館となり、営業再開後も以前のような宿泊状況に回復することはありませんでしたが、少しでも集客につなげるために宿泊キャンペーンやアウトドアイベントを実施し、特徴ある食事メニューの提供も行いました。

運営面では、コロナ禍においても宿泊予約がない日でも通常どおり施設を開けておかないといけないため、退職者の補充見送りや最少人数での管理運営、休業指示、施設メンテナンス契約の見直しや運営時間の短縮などにより、日常的にかかる経費の削減を行いました。

人件費	2019年度	80,172,824円	対前年度比 73.4% 26.6%減
	2020年度	58,859,339円	
運営費 事務費	2019年度	75,609,039円	対前年度比 45.1% 54.9%減
	2020年度	34,124,427円	

また、京都市からは新型コロナウイルスによる臨時休館や宿泊キャンセルで発生した宿泊費損失額相当分の運営補償給付（4月～9月受給額：約3,762万円）があった他、国や地方自治体等の各種補助金や助成金（年間受給額：約1,680万円）も積極的に活用いたしましたが、大幅な事業収入の減少を補うことができませんでした。

その他、京都市への納付金については、運営者の責任範疇を越えるコロナ禍においては全額（1,020万円）免除を要望し、京都市担当課と協議を重ねてきましたが、最終的には1回目の緊急事態宣言時に臨時休館した64日分（約179万円）のみの減額となりました。

その結果、2020年度の当協会の経常増減額は▲14,684,178円となり、期末時点の正味財産額は前年度から14.7%減少し、85,443,987円となりました。

[経営実績の推移]

科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
経常収益（収入）	217,538,436	214,339,353	198,404,625	195,286,399	101,433,357
事業推進業務	63,703,216	67,027,118	61,027,987	5,838,2977	18,086,269
指定管理業務・施設運営	143,549,047	137,876,004	127,088,381	126,904,419	73,870,300
組織運営業務	10,286,173	9,436,231	10,288,257	9,999,003	9,476,788
経常費用（費用）	211,008,692	210,018,271	201,744,193	187,225,738	116,117,535
事業推進業務	57,403,144	58,758,578	52,862,186	52,566,977	21,063,681
指定管理業務・施設運営	142,175,295	139,642,199	134,873,577	125,694,320	88,158,496
組織運営業務	11,430,253	11,617,494	14,008,430	8,964,441	6,895,358
当期経常増減額（経常利益）	6,529,744	4,321,082	- 3,339,568	8,060,661	- 14,684,178
経常外増減額（経常外利益）	- 5	- 1	- 869,935	0	0
当期正味財産増加額（純利益）	6,529,739	4,321,081	- 4,209,503	8,060,661	- 14,684,178
正味財産期末残高	91,955,926	96,277,007	92,067,504	100,128,165	85,443,987

2. 公益目的財産額

2020年度の公益目的のための支出額は、青少年育成事業（継続1）で1,042,742円、ユースホステル運営事業（継続2）で15,267,873円となり、合計で16,310,615円を公益目的のために支出しました。特にユースホステル運営事業においては、新型コロナウイルスの影響により宇多野ユースホステル・天橋立ユースホステルともに大幅に宿泊者が減少し、計画以上の支出額となりました。

その結果、2020年度期末時点の公益目的財産額は23,082,137円となりました。

[公益目的事業の推移]

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
公益目的財産額（期首）	53,968,351	53,845,519	50,657,098	38,829,226	39,392,752
公益目的財産収支差額	- 122,832	- 3,188,421	- 11,827,872	563,526	- 16,310,615
公益目的財産額（期末）	53,845,519	50,657,098	38,829,226	39,392,752	23,082,137